



<著者> Profile

税理士・中小企業診断士 知野 福一郎

第四銀行本店貸付第1課次長にて退職後、昭和47年7月に事務所を開設。会計事業をはじめ、事業承継、M&A、相続対策などあらゆる面で中小企業の相談に応じている。

札幌商工会議所中小企業相談所専門相談員

## 決算内容に説明責任あり

**Q** 明日、銀行から決算書を持参し説明すると言われていますが、いつも絞られるので憂鬱です。

**1** 銀行交渉に自信をもつべきです

**A** ある経営者が銀行の担当者から「〇日〇時に銀行に来るように」と当然のよう言われ「まったく不愉快だ。銀行の支店長がその支店を代表するのであれば、経営者はその企業を代表するのであるから、三回に一回くらいは支店長が直接来訪し、実態を把握したり、アドバイスしてくれるのがまともな取引関係だよ」と怒っていました。金融監督庁でも、売上増加策やマーケットの開拓、業態の変化など積極的な事業展開への支援や指導に転換するよう要請しているが、なかなか浸透していないと困っているようです。

**2** 経済の転換は経営の転換を求めている

永年の景気低迷の中、いつのまにか人件費や経費の削減だけが経営改善計画の中心になっていたことは事実ですが、せ

つかく景気が回復基調に入っているのですから、これまでの消極的経営姿勢から積極的姿勢に転換すべきですし、銀行もそのような審査体制を構築すべきです。

**3** 前向きな決算説明を行う

決算報告書の提出を求められたら、銀行に提出する前に経営者自身が決算報告書を分析し、前期と比較して増減が多い科目についてその原因を把握し、改善策をまとめ上げ、説明書を作成、決算報告書に併せて支店長に説明する姿勢が必要です。損益計算書では売上や利益の増減額と原因の分析、今後の改善策、特にその期に生じた一時的な損益については詳細に説明し、継続的かつ安定的な利益がいくらなのか数字で示す必要があります。銀行にとつても、その企業の正常なキャッシュフローはいくらかということ

は、すなわち、借入金返済力に関することです。当期の損益状況や中・長期的な損益状況の把握は極めて重要です。

また、貸借対照表科目では、売掛債権

や在庫の増減、買掛金、未払金の増減理由と改善計画、他金融機関からの借入金の増減などについても具体的に説明します。貸借対照表科目の増減も翌事業年度以降の資金状況と密接な関係を持っていますから、銀行が最も知りたい情報の一つです。

**4** 具体的な改善計画の説明

業績が悪いと決算書の提出が億劫になることはわかりませんが、改善策を具体的に説明し理解を得るようにしましょう。ただし、売上増加計画は分析資料を積み上げ納得を得ることが必要です。「低く計画し高く達成する」ことも金融機関の理解を得る条件であることをお忘れなく。

税理士法人知野会計事務所

札幌市中央区北一条西二丁目

北海道経済センター

〇一一二五一一五六三一